

令和 6 年度高知県立宿毛工業高等学校

第 2 回学校運営協議会 議事録

2025.3.13 17:15

宿毛工業高等学校 会議室

【参加者（協議会委員）】

武政 登：大方あかつき館館長・宿毛工業同窓会長	阿部 一仁：宿毛工業 PTA 会長
安岡 未佳：元宿毛工業 PTA 役員 当日欠席	大塚 猛：宿毛工業 PTA 役員 当日欠席
橋田 ゆき：宿毛工業スクールカウンセラー	中福 智子：宿毛市役所 企画課
浜田 勇真：宿毛市立東中学校・教諭 当日欠席	兼松 尚子：四万十市立中村西中学校・教頭
小栗 聖也：宿毛市青年会議所・理事長	

【参加者（宿毛工業教職員）】

中野 達也（校長）	西山 太彩（教頭）	岡本 真紀（事務長）
森 裕嗣（教務部長）	河原 正委（生徒指導部長）	畠中 晶代（進路指導部長）
山崎 桂（総務部長）	中脇 周司（生徒サポート部長）	
松田慎二郎（総務部・議事録）	中澤 颯太（総務部・議事録）	

【開会】開会宣言。録音の許可を問う。配布資料確認。

【校長挨拶】今年度の学校の日程や生徒の様子について簡単に説明。今後とも学校の魅力化についてご協力いただきたい。

【自己紹介】上記参加者の通り。

【議事】

（1）令和 6 年度 学校評価アンケート、高知県オリジナルアンケートについて〔学校〕

アンケートを web で実施したことによって前年度よりも回答率が上昇したことを説明。アンケート結果を【学校運営】【生徒指導】【進路指導】【人権教育】【特別活動】【教育重点目標 基礎学力の定着と家庭学習の習慣】【教育重点目標 資格取得の推進】【教育重点目標 交通安全教育】に分類し、考察を陳述。

【学校運営】について。前年度と比較して肯定的意見の割合が上昇しており、生徒は落ち着いた環境で充実した学校生活が送れていることが窺える。情報発信については保護者の肯定的回答の割合が生徒・教職員と比較して低く、理由としては、学校からの連絡は基本的に生徒から保護者に伝える形をとっているが、その指導がうまくいっていないことと、連絡ツールである「すぐーる」は緊急情報のみの利用にしていることが考えられる。各種通信やホームページの充実等に努めていかなければならない。

【生徒指導】について。社会に出ても困らないような指導をしている。校則についても生徒の要望や時代の流れに合わせて変えている。「あいさつ・時間を守る」という設問については、生徒・保護者・教職員のすべてが 9 割以上の肯定的回答をしており、外部からの評価も高い。

【進路指導】について。「生徒一人ひとりに適したきめ細かい指導や情報の提供がなされている」という設問については、保護者の「わからない」回答が 18%であり、工夫が必要である。「学校生活や勉強、進路等について家庭で会話をしている」という設問については、生徒・保護者の肯定的回答と比較して教職

員の肯定的回答の割合が低かった。三者面談等の場面で早めに教職員からの情報提供に取り組まなければならない。また、インターンシップや企業・大学の見学を取り入れたキャリア教育をさらに充実させていかなければならない。

【人権教育】について。全体的に保護者の「わからない」回答が多く、設問の文言を変える等の工夫が必要である。学校では人権週間の設定や生徒向けの研修なども実施しているため、引き続き生徒の要求に応えられるよう努めていきたい。

【特別活動】について。今年度は初の試みとして体育祭を平日に実施した。その様子をライブ中継し、2週間ほどその動画を見られるようにした。部活動については加入率が87.9%と、高い水準である。アンケートの意見の中に「できれば専門の部活動の指導員がついてほしい」というものがあつた。現状ではその実現が厳しいが、外部指導員という制度があるため、よろしければ、そういった指導ができる知り合い等がいらっしゃったら教えていただきたい。ボランティア活動については、国道清掃ボランティアというものをやっている。また、以前に70周年実行委員会の方から「幡多県民病院の草刈りと防草シートの設置を行ってみてはどうか」という意見があつたため、併せて行った。このことを病院の広報とSNSで発信していただいている。

【教育重点目標 基礎学力の定着と家庭学習の習慣】について。教員は授業改善に日々努めており、その結果もあつて肯定的回答が多いと考えられる。「家庭での学習習慣が身についてきている」という設問については、他の設問と比較すると全体的に肯定的回答が少ないが、生徒は補習や検定試験に向けての勉強等、学校外での努力も見られる。今後は、文言を「家庭での」ではなく「授業外での」に変えるなどといった工夫が必要と思う。

【教育重点目標 資格取得の推進】について。前年度と比較して全体的に肯定的回答率が高く、特に保護者からの肯定的回答率が他の設問より高い。本校は専門高校であるため資格取得には力を入れており、引き続き指導に励んでいく。

【教育重点目標 交通安全教育】について。交通違反数のピークだった平成28年度の119件から、令和4年度は目標としている50件以下(48件)となったが、令和5年度は73件、今年度は61件である。本校では安全教育は命に関わる最重要課題の一つと捉えている。今年度は特に大きな事故はなかったが、危うい内容のものもあつたため、より一層安全指導を徹底しなくてはならない。

なお、アンケート結果は全教職員に配布し、本校ホームページにも掲載している。

高知県オリジナルアンケートについては、学校評価アンケートと重なる部分もあるため、詳しい説明は省略。分析結果も記載しているため、確認をしておいていただきたい。

(2) 質疑応答

〔委員〕保護者の「わからない」回答が多いことが気になる。情報発信を工夫して学校の様子を保護者に知っていただく取り組みが必要なのではないか。「すぐーる」の運用は緊急時のみということではあつたが、保護者としては、学校での様子が詳しく分かると嬉しい。

〔学校〕検討する。当面は詳しい内容はホームページに掲載し、「すぐーる」には緊急時のみの連絡という体制で進める。SNSの一つである「インスタグラム」を活用してほしいという意見もあつたが、管理職の確認等、業務が大幅に増えることになり、現状は厳しい。

〔委員〕ホームページの内容をSNSにそのまま転記するのはどうか。SNSは通知がくるため、情報を確

認する機会が増やせると思う。

〔学校〕検討する。ちなみに、「すぐる」は保護者にとって良いツールであるか教えていただきたい。

〔委員〕良いものだと思う。通知が来るので、気になって見ることが多い。通知があると興味を引くことができる。見てほしいというアピールがあれば見てくれると思う。

〔委員〕国道清掃ボランティア以外で取り組んでいるボランティアや、そういった取り組みを行なっている組織、部活動等があれば教えていただきたい。

〔学校〕部活動に関しては、地域探求部という部活動がそういった取り組みをしている。清掃活動以外のボランティアとしては、学校に様々なボランティアの要項が来るため、ボランティアに参加している生徒はいる。ボランティアに参加すると証明書が発行されるため、指導要録にも記載している。ボランティアは基本的に自発的生徒が行くよう促している。また、70周年記念の取り組みでは、ものづくりの視点で考え、規約にある「地域に何かを残す」「学校に何かを残す」の二つを柱とし、何が必要かアンケートを取った。その結果から、けんみん病院前にある「宿毛工業前」というバス停に屋根を作るという取り組みを、地域と協力しながら行っている。

〔委員〕宿毛市青年会議所では宿毛市民祭り等の様々な運営をしており、宿毛工業にオファーをかけていいのであれば、協力していただきたい。

〔委員〕アンケートの中の、教職員の「わからない」は、具体的にその設問の何が「わからない」なのか気になる。

〔学校〕事務員や司書教諭、養護教諭等、教職員全体を対象に取っているため、業務内容が自身と関係のないものについては「わからない」と回答していると思われる。しかし、設問の文言を工夫する必要があると感じる。また設問によっては、なぜ「わからない」と答えたかがわからないものもある。

〔委員〕「悩みや質問などに対して生徒に誠実に対応している」という設問で、教職員が3人「わからない」と回答しているが、情報共有すれば0人になるのではないか。

〔学校〕職務内容上、生徒と対話することがない教職員もいるため、「わからない」という回答が数名いることはやむをえない部分はある。

〔委員〕対象者を絞ることも必要ではないか。

〔学校〕特定の設問には特定の教職員のみ答えるなど、回答者の幅を狭めることは必要と感じている。

〔委員〕中学校では家庭学習習慣を確立させるため、宿題内容の見直しが行われているが、高校では宿題はあるのか。また、中学校では5時間以上スマートフォンを使用している生徒が数名おり、家庭学習の指導に苦慮している状況であるが、高校ではどのような指導をしているのか。

〔学校〕高校では、設問には「家庭学習」とあるが、具体的には「授業外」での学習習慣を確立するというのが県のスタイルであるため、放課後の補習や学習指導員の利用などを行なっている。家庭学習に関する調査では、家庭学習を15分以上している本校生徒として、1年生は49.5%、2年生が65.5%という結果が出ている。宿題の有無については教科による。宿題の内容として、長期休暇では個別最適化デジタルドリル「すらら」から出題している教科もある。

〔委員〕人権教育に関する設問の保護者の回答に「わからない」が多いため、スクールカウンセラーとして学校だより等を配信していきたい。

〔委員〕人口減少対策の仕事をしているが、アンケートの肯定的回答率が上がっているということで、ぜひこのまま魅力的な学校作りを続けていただきたい。

〔学校〕参考として、今年度の卒業生は104名中53名が就職し、その内の21名が県内で就職しており、例年と比べると多いように感じる。

（３）令和６年度 学校経営計画・学校評価等について

学校評価で設定した各項目の【目標（評価指標）】の中から、未達成のものについて説明。未達成のものについてはその改善点を資料に基づき説明。

《学校関係者評価》について説明。【学力の向上】について。肯定的意見を多数得られたが、卒業生の進路については1名が未定であり、誰一人取りこぼすことのないよう指導していく。【社会性の育成】について。8割以上の肯定的意見を得られたが、マナーが悪いという苦情を受けることもあるため、社会人としての自覚を促し、マナー指導を推進する必要がある。【チーム学校】について。学校評価アンケートの結果から、教職員をどうブラッシュアップしていくかが必要な部分であると感じている。肯定的意見が増えており非常にありがたいが、基本的な部分である進路指導や授業、資格取得、部活動をこれからも徹底していく。また、先ほども話題にあがった情報発信についても課題である。良い手立てを模索していく。

（４）質疑応答

〔委員〕各項目の目標達成は厳しいかもしれないが、それらが達成できる学校としてアピールすれば、生徒数も増えるかもしれない。

〔学校〕情報発信の方法を考えなければならない。出前講座等も行っているが、日程等の見合わせも必要である。できるだけ多くの科専攻がアピールできる機会を増やしていく予定である。

〔委員〕動画配信の内容を中学生に見せており、参考にしている。直接足を運べない中学生のためにもぜひ続けていただきたい。中学生は宿毛工業の取り組みに興味を持っている。

〔委員〕時代によって必要とされる職業が変わるため、各科専攻の出願数は社会情勢によって変動はすると思う。

〔学校〕時代によって左右される点は事実ではあるが、社会的ニーズが失われることはないと思う。また、時代に合わせた教育を行っていく。

〔学校〕人口減少が進んでいる状況ではあるが、生徒がいなくなるわけではないため、工業の魅力でできるだけ多くの生徒を惹きつけていきたい。そのためにも、委員の皆様方には引き続きご協力をお願いしたい。

《議事終了》

来年度も年２回の開催を予定している。委員の任期は２年であるが、人事異動等で委員を続けられない状況になった場合は連絡をいただきたい。次回は８月あたりを予定しているが、日程が決まればまた連絡をさせていただく。

【閉会】